

# すわ光昭後援会だより

発行者●すわ光昭後援会 会長 横澤厚信 〒398-0002 大町市大町(下仲町)4067 TEL:0261-23-7460 FAX:0261-23-7461

No.11

## ごあいさつ



日頃は、長野県議会議員諏訪光昭にご支援を賜りありがとうございます。皆様からのご支援をいただき諏訪光昭は、「夢があふれる長野県 活力あふれる大町市をめぐって」活動させていただいております。

南米大陸で初めてのオリンピックがブラジル・リオデジャネイロで8月5日から24日まで開催されました。

日本人選手の大活躍で41個のメダル獲得という成果を残し、多くの感動を与えていただきました。

2020年の東京オリンピック開催に向けての弾みとなり、大きな夢と希望が広がっています。

バドミントン女子シングルスに出場した奥原希望選手（大町市常盤出身・仁科台中学校・大宮東高等学校・日本ユニシス株式会社）応援のため、9日から22日までの日程で訪伯しました。奥原選手の所属する日本ユニシス株式会社企画のバドミントン応援ツアーに同行させていただきました。

日本ユニシスの平岡昭良社長をはじめ、選手の皆さんのご家族など総勢31名の皆様と共に、日本選手の出場したバドミントンすべての競技を観戦し、応援してまいりました。

リオデジャネイロでは、ブラジルの長野県人会のメンバーでもあり、リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟の鹿田明義理事長（更埴市出身）ご夫妻、同じく長野県人会のメンバーである山岸正可様（長野市豊野出身）も奥様、ご家族皆様で会場に足を運んでいき温かな声援を送っていただきました。

大町市をはじめ、日本からの力強い応援を背に、奥原希望選手は見事、日本シングルスでは初めてのメダル獲得の新しい歴史を刻んでくれました。

奥原選手と同じ日本ユニシス所属の高橋礼華・松友美佐紀ペアは金メダル、男子ダブルスの早川賢一・遠藤大由ペア、混合ダブルスの数野健太・栗原文音ペアはともにベスト8に進出するなど大活躍を見せました。

奥原選手をはじめ、日本人選手の活躍を間近でみて応援できたことは、私にとりまして一生の宝物となりました。

牛越徹市長、二條孝夫議長、宿泊先となりましたコンドミニウムで同室だった大高史夫先生（元大宮東高校監督）・秋本悦子先生（元大宮東高校・奥原選手担任）はじめ、日本ユニシス平岡社長、お世話になったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

スポーツの持つ素晴らしいパワーと、アスリートの皆さんの熱い戦いを、長野県のスポーツ振興、指導者育成、競技力向上、環境整備に向け行動してまいりますので引き続きご指導宜しくお願い申し上げます。

2016年9月24日

長野県議会議員 諏訪 光昭

## 2016.08.02

### 奥原希望さんを応援する会は応援グッズ引き渡し式を開催しました。

リオデジャネイロの現地で応援する奥原選手の両親と兄妹、牛越会長、二條孝夫市議会議長、諏訪光昭の7名に、応援グッズの引き渡し式を市役所庁議室で開催しました。応援グッズは、法被、Tシャツ、鉢巻きなどです。地元の熱い声援をしっかりと奥原選手に届けられるよう、精一杯の応援を約束させていただきました。



## 2016.08.10

### リオデジャネイロにつきました。

30時間の長旅でリオデジャネイロに無事つきました。

日本からは選手のご家族、日本ユニシスの関係者の皆さん含めて26名です。

リオは珍しく雨模様で、気温も20度以下で半袖では寒いくらいです。宿泊のコンドミニウムの目の前が、バドミントン会場ですが、保安検査のため、選手村の前を通り片道20分ほどかけて、ぐるっと回らなければなりません。



## 2016.08.11

### リオデジャネイロ2日目。

午前6時15分に集合して会場に向かい、女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀コンビはインドに2-0で快勝。続いての混合ダブルス数野健太・栗原文音コンビもオランダに2-0で快勝、男子ダブルスも早川・遠藤コンビが中国を2-1で下しました。



## 2016.08.12

### 奥原希望選手は予選リーグ初戦を勝利。

奥原希望選手は予選リーグの初戦を2-0で勝利しました。

奥原選手の初戦は、自らの持ち味の”拾って”のスタイルが確立されていて、動きもよく、フットワーク抜群でした。期待をもって応援を続けていきます。

日本バドミントン選手の快進撃が続いています。女子シングルス山口選手、女子ダブルス、男子ダブルス、混合ダブルスも勝利しました。現地の日本応援団も選手の活躍に大いなる盛り上がりを見せています。

この日は、ブラジルの長野県人会のリオ支部長を務め、リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟の鹿田明義理事長も奥様、県人会の皆様とともに競技会場を訪れ、選手の皆さんを激励するとともに、試合を観戦して声援を送っていただきました。



## 2016.08.13

### リオオリンピックの応援4日目です。

この日は奥原選手の試合は無く、女子ダブルス高橋・松友ペア、混合ダブルス数野・栗原、男子ダブル早川・遠藤ペアの応援をしました。それぞれのペアが決勝トーナメント進出を決めました。



## 2016.08.14

### リオオリンピック応援5日目です。

奥原希望選手は午前10時過ぎからの、予選リーグ2試合に臨み、2-0で快勝。決勝トーナメント進出を決めました。

奥原選手の持ち味が十分発揮された好ゲームでした。心身ともに好調な様子です。

この日は、同じ女子シングルスに出場している山口選手も決勝トーナメント進出を決めました。男子シングルス佐々木選手は敗れ、決勝トーナメント出場はなりませんでした。

混合ダブルス準々決勝、数野・栗原ペアは、韓国に0-2で敗れ準決勝進出はなりませんでした。



## 2016.08.15

### 奥原希望選手は韓国の選手に2-0快勝。

女子シングルス決勝トーナメントで奥原希望選手は、韓国の選手に2-0快勝。この日も、”奥原ペース”を崩すことなく試合をすすめ、相手に隙を与えることなく勝利しました。明日行われる準々決勝は、タイの選手に勝利した山口選手との日本人

同士の対戦となりました。

女子ダブルス高橋・松友ペアは2-0でマレーシアを下し、準決勝進出を決めました。続いて行われた、男子ダブルス早川・遠藤ペアは0-2でイギリスに敗れ、準決勝進出は成りませんでした。



**2016.08.16**

**リオオリンピックの応援は7日目に入りました。**

奥原希望選手は、準々決勝で山口茜選手を2-1で破り、準決勝進出を決めました。

奥原、山口選手ともにオリンピックを目指してこれまで練習を重ね、お互いの試合運びは熟知した日本人対決です。通常はコートサイドにいるコーチが陣取り選手にアドバイスを送っていますが、この日の両サイドには、コーチの姿はありません。



最初にペースを掴んだのは山口選手で、第1セットを取りました。

奥原選手は、第一セット自らの「拾って、拾って」の奥原リズムを充分発揮できませんでしたが、第2セットに入ると、ようやく奥原選手のペースとなり、長いラリーの応酬からポイントを取るなど、序盤の劣勢を見事に跳ね除け、2セットを連取して勝利しました。

日本人同士の対決で応援団席も、通常とは異なり、コートのセンターを境に、奥原選手の関係者や家族が右側、山口選手の関係者や家族は左側に席をとって、懸命の声援を送り、大熱戦を展開した両選手の健闘を称えました。

奥原選手は18日午前11時から決勝進出をかけた戦いに臨みます。

この日、女子ダブルスの準決勝が行われ、高橋礼華・松友美佐紀選手が2-0で勝ち決勝進出を決めました。女子ダブルス決勝・表彰式も18日行われます。



**2016.08.18**

**リオオリンピックの応援も9日目に入りました。**

準決勝第2試合で、奥原希望選手はインドのプサルラ選手と対戦、0-2で敗れ決勝進出はなりません。

応援団席からは、いつもの熱い声援を送り続けました。しかし、奥原選手の持ち前の拾って、拾っての試合運びがなかなかできず、逆に相手に拾われ、攻撃を受ける試合展開となり惜敗しました。



その後の、中国の選手が3位決定戦を棄権し、奥原選手の銅メダル獲得が決定しました。

日本のバドミントンシングルスでは男女通じて初めてのメダル獲得です。加えて夏季オリンピックで県内出身の選手がメダルを獲得するのも初めての快挙です。

大きな目標に向け、厳しいトレーニングを重ねてきた奥原選手のこれまでの努力に敬意を表します。

おめでとうございます。

この日は、女子ダブルスの決勝も行われ、高橋・松友ペアが、デンマークペアに2-1で勝ち、金メダルを獲得しました。高橋・松友ペア、金メダルおめでとうございます。



**2016.08.19**

**リオオリンピックの応援も最終日を迎えました。**

女子シングルス決勝終了後、奥原希望選手の表彰式が行われ、表彰式には、奥原選手ら3人が入場すると大きな歓声と拍手で迎えられ、金メダリストの栄誉を称えスペイン国歌の演奏とともに、スペイン・インド・日本の3国の国旗が掲揚されました。奥原選手も国旗掲揚に注目しながら、静かに大会を振り返っているようでした。



銅メダル授与、日の丸の掲揚には、ジーンと胸に迫るものを感じたのは私ばかりではないと思います。

その後、日本ユニシスに所属する7選手全員が、私達応援団のもとを訪れ、9日間の戦いを振り返りながら記念写真などで、和やかに懇談しました。しっかり休養をし、体をリフレッシュして、それぞれの新たな目標に向けスタートを切ってほしいと願っています。



応援団一行は、それぞれが帰国の準備に入り、リオデジャネイロ時間の20日午前2時5分リオを離陸し、ドバイ経由で帰国しました。飛行機の窓から、北アルプスの山並み、郷土大町・信州を視界にとらえることはできませんでしたが、北東方向に立ち上がっている大きな積乱雲のところに、きれいな虹がかかり、奥原希望選手のメダル受賞を祝福するかのような、凱旋フライトとなりました。



**2016.08.29**

**奥原希望選手、凱旋パレード並びに銅メダルをお祝いする会が開催されました。**

JR信濃大町駅前広場でのパレード出発セレモニーの開始前から大勢の市民の皆さんが駆けつけ奥原選手の到着を待ちました。姿が見えると大きな拍手とともに、「銅メダルおめでとう」、「ご苦労様でした」、「感動をありがとう」などの声がたくさん上がり、リオオリンピックでの健闘を称えました。奥原選手は、ご両親とともにオープンカーに乗車し、沿道をびっしり埋めた市民



の皆さんからの声に振り向きながら、1.2キロのパレードをメダルを掲げ笑顔で「ありがとうございます」と応えていました。

**くす玉開きでお祝いする会をスタート。**

特別栄誉賞の表彰式が行われ、牛越市長から奥原選手に表彰状等が手渡されました。奥原選手はあいさつの中で、オリンピック期間中の市民の皆さんからの声援が大きな力となりメダル獲得に結びついたことへのお礼の言葉を述べるとともに、「2020東京に向け頑張っていきます」と、東京オリンピックに目標を定めて取り組む、力強い意気込みを示していただきました。



奥原選手の姿勢に対して、奥原希望さんを応援する会・奥原希望後援会などを中心に、さらに支援の輪を拡げ、再びオリンピックのひのき舞台に登場できるよう、奥原選手のバックアップ体制の充実に向け取り組んでいくことなどを確認する機会となりました。

